

説 教

第2アドベント礼拝

北浜チャーチ

黒田 禎一郎

2023年12月10日（日）

主 題：「あなたには楽しみと喜びが待っている」

－荒野と砂漠に花が咲く－

テキスト：イザヤ書35章1－10節

はじめに

- ・おはよう ございます。

今日は、第二アドベント聖日礼拝です。今日のメッセージ・テーマは、「あなたには楽しみと喜びが待っている」です。

- ・聖書箇所は、旧約聖書イザヤ書35章です。このテキストは、紀元前8世紀ごろ、やがてイスラエルの将来に、何が起こるか預言された箇所です。
- ・イスラエルの民は、神に愛され、選ばれた人々でした。しかし神への不従順のために、彼らは敵国によって滅ぼされました。そして彼らはバビロンに捕囚の身（奴隷）となると、預言されました。
- ・しかし、「捕らわれ人」（奴隷）となっても、神はイスラエルはイスラエルであり、「希望の光」があると語られました。彼らは選ばれた、愛された人々であるからです。
- ・イザヤは次のように預言しました。

35:1 荒野と砂漠は喜び、荒れ地は喜び躍り、サフランのように花を咲かせる。

35:2 盛んに花を咲かせ、歓喜して歌う。これに、レバノンの栄光と、カルメルやシャロンの威光が授けられるので、彼らは【主】の栄光、私たちの神の威光を見る。

⇒ここには、大切なことが2点あります。

- ① イスラエルの回復、 ③新しい天地の到来。

- ・聖書はイスラエルの荒野と砂漠に、「サフランのように花を咲かせる」と語っています。荒野と砂漠に花が咲くとは、信じられませんね。

{サフランは紀元前からヨーロッパで、香料・染料として利用されてきました。

めしべは乾燥させて、香辛料や生薬として用いていました。サフランは独特の香りを持ち、水に溶かすと鮮やかな黄色を呈します。収率が低いいため貴重です。サフランの価格は現在でも、1gあたり約5ドル（約750円）と高価です。}

- 古代ギリシアではサフランの黄色が珍重され、王族だけが使うことを許された「ロイヤルカラー」とされた時代もありました。それが「サフラン」で、神は荒野と砂漠に、「サフランのように花を咲かせる」と語られました。

⇒これこそ喜びであり、楽しみではありませんか！

- 「荒野と砂漠は喜び」 ⇒ それは、どんな意味でしょうか。それはイスラエル国が回復する預言です。
- イスラエルの地理的状况を考えてください。現在では北部のレバノン、中部のカルメル、地中海側のシャロンの土地は、農作物が実る豊かな肥沃な土地となっています。皆さん。これらの土地は、かつては荒野と砂漠でした。しかし、今は変美しさと豊かさを持つようになっています。しかも神は、イスラエルはそれを見ると預言されました。
- この預言は1948年5月14日、イスラエル建国以来、成就してきました。それ以前のパレスチナは、荒廃した砂漠（年間雨量50ミリ）で、荒野（不毛の地）でした。しかし、世界に離散していたユダヤ人たちがパレスチナ南部のネゲブの荒野（Negev desert）に戻って来ました。
- 今では、そこにキブツ（集団農場）ができ、人々は砂漠の地に水を引き、作物を植え開墾しました。現在、ネゲブの荒野は「ネゲブ平野」と呼ばれ、緑と花に包まれています。そして、人々が定住して生活し、町（city）ができています。
- イスラエルの初代首相でベングリオン（Bengrion）氏は、「イスラエルの将来は、荒野をどれだけ開拓できるかにかかっている」、と語りました。

35:1 荒野と砂漠は喜び、荒れ地は喜び躍り、サフランのように花を咲かせる。

聖書 ⇒ 喜びなさい！ 神の栄光を見る！ と語っています。

* 今日のテキスト、イザヤ書35章は大切なことを語っています。2点

大切なポイント

1. 神の励ましと約束

1) 回復の励まし

- 預言者イザヤは、神の霊を受け励ましのメッセージを語りました。

35:3 弱った手を強め、よろめく膝をしっかりとさせよ。

35:4 心騒ぐ者たちに言え。「強くあれ。恐れるな。見よ。あなたがたの神が、復讐が、神の報いがやって来る。神は来て、あなたがたを救われる。」

- ・神はイスラエルに呼びかけられました。このみことばは、離散ユダヤ人たちに、国を失った民に与えられたことばでした。AD 70年、エルサレムの都はローマ軍によって破壊され、完全に陥落しました。彼らは国を追われ、世界各地へ離散しました。絶望感、無力感、迫害、差別、落胆と多くのことを味わいました。すなわち、イスラエルは国際社会で、弱い存在になると思われました。
- ・しかし、そこには神の励ましがありました。聖書は、「**神は来て、あなたがたを救われる。**」と預言されました。ですから主である神を信じ、「**強くあれ、恐れるな。**」と言われました。それは神とイスラエルの関係を現わしています。神は常に、「**強くあれ、恐れるな。**」とイスラエルを励まされました。

- ・皆さん！聖書のみことばは、あらゆる時代に生きる人々に励ましを与えるものです。ヘブル書の著者は、信仰のゆえに迫害を受けている聖徒たちに、次のように語りました。

12:12 **ですから、弱った手と衰えた膝をまっすぐにしなさい。**

12:13 **また、あなたがたは自分の足のために、まっすぐな道を作りなさい。足の不自由な人が踏み外すことなく、むしろ癒やされるためです。**

- ・これが聖書の神です。イスラエルの民が弱くなり力を失ったように、私たちも人生において力を失い、立ち上がれないほどの経験をする場合があります。しかし、それでも私たちが神を信頼するならば、神は約束を守られるお方です。
- ・そこで大切なことがあります。それは神の励ましのことばを受け止めるに、「**信仰が必要**」であることです。信仰が働かなければ、神の励ましも受けとめられません。神は信仰を持つ人を導き、励ましを与えてくださるからです。

2) 回復の約束

- ・ところで、神はイスラエルの民に、天来の祝福を約束されました。しかも誰の目にも分かるように、明らかな変化を示すと言われました。それはイスラエルの回復です。 **新共同訳 イザヤ書**
- 35:5 **そのとき、見えない人の目が開き、聞こえない人の耳が開く。**
- 35:6 **そのとき、歩けなかった人が鹿のように躍り上がる。口の利けなかった人が喜び歌う。荒れ野に水が湧きいで、荒れ地に川が流れる。**
- ・この預言は、イスラエルの回復を指し、荒地が再び祝福を受けるというものです。約2千年前、イエス・キリストが来られた時、喜びがもたらされました。イエスの誕生は、やがてイスラエルに来る喜びの前味でした。
- イザ 35:7 焼けた地は沢となり、潤いのない地は水の湧くところとなり、ジャッカルが伏したねぐらは葦やパピルスの茂みとなる。**

これもイスラエルの回復の預言です。

- 喜びの日には、歩けなかった人が鹿のように躍り上がると言いました。
 {山犬 (ジャッカル) 集まるところは、葦やパピルスの茂みとなる、と言いました。 山犬という動物は、体長65～106cm、尾20～41cmほどで、オオカミに似ていますが耳は大きいです。体は薄い金色～黄褐色で、背と尾には黒色の毛が多いです。平原や林に1～6頭で棲み、夜出て猛獣の食べ残しをあさるほか、ネズミやウサギなどを襲います。穴を掘るのが上手く、4～9匹の子を生む。その山犬の住み家が、葦やパピルスの茂みとなるのです。}
- そこには水が湧きだし、川が流れる
 ⇒ 水は荒地で大変貴重なものです。イザヤ書41章；
41:18 わたしは裸の丘に川を開く。平地のただ中には泉を。荒野を水のある沢とし、砂漠の地を水の源とする。
- 聖書預言の成就是、聖書の信憑性にかかっています。神は、私たちの心の目を開くために、預言とその成就をとおしてお語りくださっています。それは神の真実を示すためです。
- 今、死海（塩の海）で起こっている「しるし」に注目ください。
 それはエリコに近い「**エン・ゲディからエン・エグライム**」までで起こっている事実です。（死海エンゲジ近くの写真を提示）
- **エゼキエル書47章**
47:9 この川が流れて行くどこでも、そこに群がるあらゆる生物は生き、非常に多くの魚がいるようになる。この水が入ると、その水が良くなるからである。この川が入るところでは、すべてのものが生きる。
47:10 漁師たちは、そのほとりに立つ。エン・ゲディからエン・エグライムまでが網を干す場所になる。その魚は大海の魚のように、種類が非常に多くなる。
47:11 しかし、その沢と沼は水が良ならず、塩を取るのに使われる。
47:12 川のほとりには、こちら側にもあちら側にも、あらゆる果樹が生長し、その葉も枯れず、実も絶えることがなく、毎月、新しい実をつける。その水が聖所から流れ出ているからである。その実は食物となり、その葉は薬となる。」
- 神が介入されると、荒野も砂漠も神の栄光に包まれます。そこには回復があり、希望があります。神はBC800年ごろ、預言者イザヤをとおしてイスラエルに励ましと約束を与えられました。それが今、成就しつつあります。

2. 神が備える祝福の道

35:8 そこに大路があり、その道は「聖なる道」と呼ばれる。汚れた者はそこを通れない。これは、その道を行く者たちのもの。そこを愚か者がさまようことはない。

- ・神の栄光が明らかにされると、世界は変貌します。そこには霊的秩序が確立されます。ここに大切なことが書かれています。

1) 贖われた者

- ・神はイスラエルを贖われるお方です。「贖い」とは、買い戻すという意味。神は、失われた者の生命を、①お金ではなく御血によって買い戻すお方です。そして、②敵の奴隷であった者を解放してくださるお方です。預言者イザヤは、それを35章で歌いました。その讃美の歌声は、天にまで届きます。
 - ・しかし、更に幸いなことは「贖い」という事実の深さです。神は一人子イエスを、この地に送られました。「贖い」を成就するために、神ご自身が、失われた生命を血で買い戻してくださいました。イエス・キリストの十字架の<贖いのわざ>は、ここにあります。天の御国に入る「聖なる道」は、イエス・キリストの「贖い」によります。ヨハネ黙示録
- 21:27 しかし、すべての汚れたもの、また忌まわしいことや偽りを行う者は、決して都に入れない。入ることができるのは、子羊のいのちの書に記されている者たちだけである。
- * 天の都に入る者は、キリストの御血によって「贖われた者」で、その名前が「いのちの書」に書かれた者のみです。

2) 喜び歌いながらシオンに入る

35:10 【主】に贖われた者たちは帰って来る。彼らは喜び歌いながらシオンに入り、その頭にはとこしえの喜びを戴く。楽しみと喜びがついて来て、悲しみと嘆きは逃げ去る。

- ・主に贖われた者は、<喜び歌いながらシオンに入る>のです。ところで、預言者イザヤはやがて来られる救い主（メシア）を預言しました。
- 7:14 それゆえ、主は自ら、あなたがたに一つのしるしを与えられる。見よ。処女が身ごもっている。そして男の子を産み、その名をインマヌエルと呼ぶ。
- 「インマヌエル」（神は私たちとともにおられる）
- ・これは御子イエスの誕生（クリスマス）の預言です。

小羊イエスの血によって罪が洗われた者が、神の前に<贖われた者>です。そして、その人こそ<聖なる道>、天の御国に向かってを歩む者です。しかも、その人は<喜び歌いながら>天の都に入ります。 ハレルヤ！

{例 話} 「帰還ユダヤ人たちの姿」(写真)



・皆さん。これは歴史上の事実ですが、そこに神のマスタープランがあることを覚えてください。では、「なぜ」聖書はイスラエルとその民の動きを預言しているのでしょうか。それは、神と私たちの関係を示す「型」であるからです。

・多数のユダヤ人たちは地上のシオン

(エルサレム)へ、喜び踊りながら戻ってきています。しかし私たちは、天のシオンへ向かう民です。それは小羊の血によって「贖われた者」の特権です。新しい天と新しい地に入るその日は、特別な喜びに包まれます。

- ・歴史は過去の事実です。加えることも、引くこともできません。その歴史を前もって語られ、それがその通りに成就することは神のわざです。神にしかできません。神は歴史を支配し、歴史の中に生きています。
- ・クリスマスは、すぐそこにやって来ています。全人類の救い主、神の小羊であるイエス・キリストの誕生です。このお方は、私たちを贖ってくださるお方です。私たちは喜びと感謝をもって、お迎えしようではありませんか。

まとめ

主 題：「あなたには楽しみと喜びが待っている」

— 荒野と砂漠に花が咲く —

- ・神は、イスラエルが不従順な民であったにも関わらず、イザヤを通しメッセージを与えられました。それは一言でいえば、「神の祝福」です。イザヤ書 35 章は、神の祝福の約束です。
- ・今日、私たちは第二アドベント聖日を迎えました。神は神を信頼する者に、励ましと約束を与えられました。神の約束は、天のエルサレムに向かう祝福の道です。では、神の約束の地に入る人とは、どんな者でしょうか。
 1. 御子イエスの血によって「贖われた者」です。
 2. その人には楽しみと喜びが待っています。

* God bless you!